

令和7年度 家庭教育通信3号

令和7年11月26日発行／八千代市教育委員会生涯学習振興課

八千代市教育委員会生涯学習振興課では、小・中学生の子育てをサポート・応援するために「家庭教育通信」を発行しています。

子育てのヒントや情報・家庭教育講演会のお知らせなど、家庭教育に関するお役立ち情報をお届けします。

令和7年度 第2回 家庭教育講演会が開催されました

「子どもを理解する視点を広げよう～子どもの成長発達を共に喜ぶために～」



10月20日、令和7年度第2回家庭教育講演会が開催されました。今回は、令和6年度の講演会にもご登壇頂いた市川市巡回指導職員・八千代市就学相談員・臨床発達心理士としてご活躍されている早川淳子氏を講師に迎えてお話していただきました。

今回の講演会では、子どもの行動や成長発達の具体的な事例をもとにしたお話から「行動には全て理由があること」や発達の違いは文化の違いと捉え、大人には、子ども達の可能性を広げる「子どもの通訳」の役目があることを学びました。

又、「苦手な事を嫌いにさせない」ことや「子育ては、引き算で」といった今後の子育てのヒントとなるお話も沢山して下さいました。参加者からも「特性は子ども達にそれぞれあることであり、発達に応じた接し方が大切であるということを学びました」「その子をよく見ることと、気づきを得ることを意識していきたいと思いました。」「楽しくてとてもタメになるお話でした」等の感想をいただき、今後の子育てがより前向きになれるような講演会となりました。

今回の講演会の開催結果については、八千代市ホームページ>家庭教育講演会でもご覧いただけます。



褒めることって難しい？

2025年も残り1か月、どんな1年でしたか？ご家庭でどんな1年だったかを振り返る時間をもてるとよいですね。ぜひ、沢山お子さんを褒めてあげてください。しかし、「子どもが大きくなるにつれ、褒める回数が減っている」「どうやって褒めたら良いのだろう？」と悩むことはありませんか？そこでおすすめしたいのが、25%ルールです。

子どもの行動をほんの少しでもできたところに注目して褒める方法です。100%を求められると無理だと感じてしまうことも、ちょうど25%くらいできたところでほめられると、子どもは「これならできそう」とやる気になります。

「がんばっているね」「あと少しだね」などの励ましも効果的で、結果ではなく、努力や過程を認められることが、子ども達の次の一歩を踏み出す勇気になります。

家族からの褒め言葉が、新たなチャレンジへと繋がることでしょう。



癒しの時間



最近、楽器屋さんの店頭に並んでいるカリンバという楽器を知っていますか？

親指で優しく、ポロンポロンと弾くとまるでオルゴールのような穏やかな音色がします。

穏やかな音色は、脳の血流をよくし、自律神経のバランスを整え、心拍数や血圧を下げ緊張をほぐしてくれるそうです。

まさに心と身体をリラックスさせるのに効果的ですね。